第4種 元稲府漁港
（北海道雄武町）

雄武地域マリンビジョン策定（モデル地域）

元稲府（もといねっぷ）地区特定漁港漁場整備事業計画

網走西部
第2圏域
流通拠点

現状と課題

・波浪条件の変化により港口方向への流れが卓越し、波高の増大で漁船が操舵不能になる等、非常に危険な操船状況になっている。
・衛生管理エリア周辺用地において強風により砂埃等が発生し、水産物の衛生保持や品質低下が懸念される。
・漁船の航跡波により港内擾乱が発生し、陸揚げ作業等に支障を来している。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：86隻
利用漁船：78隻
（内、外来漁船：13隻）
属地陸揚量：11，846トン
属地陸揚金額：28．3億円
主な魚種：ホタテガイ、サケ類
組合員数：33人

◎元稲府漁港の役割

・ホタテガイ底びき網漁業を主体とした水産物の輸出拠点及び全国の消費地へ出荷する水産物の陸揚げ拠点
・オホーツク海域の避難拠点

主　要　対　策

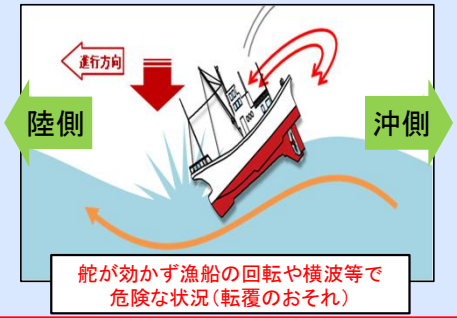
主な整備方針

・航路への進入波や流速の低減による波高増大を抑制し、港口航路の静穏度向上を図るため、防波堤の整備を行う。
・砂埃等の衛生管理エリアへの侵入等を防止するため、道路・駐車場の整備、用地の防塵処理を行う。
・航跡波の反射を防止し、港内擾乱を解消するため、消波機能を付した岸壁の整備を行う。

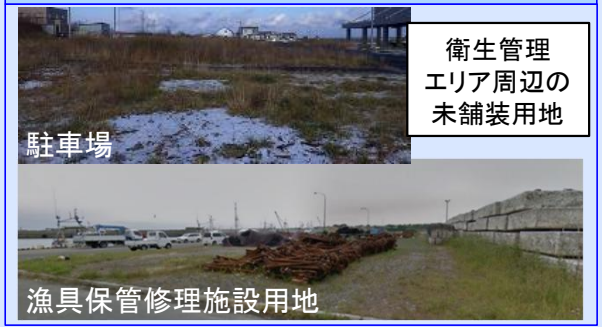
基本事項

計画事業費：30．2億円
事業期間：R2～R11

主要な対策①：静穏度対策



主要な対策②：衛生管理対策



主要な対策③：反射波対策